

ニュースレター

DSD/JICA PROJECT ON DISABILITY



Department of Social Development (DSD) / Japan International Cooperation Agency (JICA)
Project for the Promotion of Empowerment of Persons with Disabilities and Disability Mainstreaming

2016年5月10日に専門家2名が南アフリカに赴任し、「障害者のエンパワメントと障害主流化促進プロジェクト」を開始しました。第5号ニュースレターでは、高嶺豊短期専門家の協力のもと2017年7月26、27日に実施した障害者自助グループに関するワークショップについてご報告させていただきます。

障害者自助グループの設立

プロジェクトは、これまでプロジェクトサイトのあるリンポポ州ベンベ郡リム345市において、障害者のエンパワメントを行ってきました。具体的には、マクトゥレ村とシクウンドゥ村で各2回、パパゼラ村で1回のピアカウンセリングを実施しました。また、マゴナ村では、コミュニティリーダーや村の障害者と面会し、ピアカウンセリングの実施を約束しました。ピアカウンセリングを実施した村では、ピアカウンセリングの参加者が中心となり、障害者自助グループを設立し、村の障害者が直面する課題の共有や、収入創出活動などを開始しています。しかし、グループを設立したものの、グループ活動に参加するメンバーが増えない、収入創出活動を継続する資金や支援体制が無い、コミュニティでのグループに対する認知度が低いなどの問題を抱えていました。そこで、プロジェクトは、障害者自助グループの意義や重要性について理解を深めてもらうことを目的に、村の障害者や行政官、市職員などの関係者を対象として、障害者自助グループに関するワークショップを開催しました。

障害者自助グループに関するワークショップを開催

プロジェクトは、障害者自助グループの設立および強化に関するワークショップを開催するにあたり、エンパワメント沖縄の理事長、高嶺豊氏をJICA短期専門家として招聘しました。高嶺氏はこれまで、国際連合アジア太平洋経済社会委員会で勤務し、インドやタイなどアジアの国々で障害者自助グループの設立・強化に携わってきました。また、琉球大学で教授として社会福祉分野で教鞭を執り、定年退職後はNPO法人エ

目次

障害者自助グループの設立	1
障害者自助グループに関するワークショップ開催	1-2
今後の予定	2
フェイスブックページ開設!	2

ンパワメント沖縄を設立しました。エンパワメント沖縄では、世界各国の行政官や障害者を対象に、「地域に根ざしたインクルーシブアプローチによる障害者の社会参加と生計」に関する研修を実施しており、本分野の第一人者です。



ワークショップで講義する高嶺氏(右)

2017年7月26日と27日に行われたワークショップには、マクトゥレ村、シクウンドゥ村、パパゼラ村、マゴナ村に住む障害者、リム345市の市議会議員や市職員、ベンベ郡職員、社会開発省や教育省の行政官、障害フォーラムのメンバー、障害当事者団体職員など40名以上が参加しました。ワークショップ1日目のセッションでは、高嶺氏が障害者自助グループの定義や自助グループが広がった歴史的背景、自助グループ強化に必要な基本原則などを説明しました。午後には、国連障害者権利条約、地域に根ざしたインクルーシブな開発、障害者自助グループ活動に関するインドの好事例の紹介など、幅広い視点から具体的に、村レベルにおける障害者自助グループ設立・強化の重要性を説明しました。

ワークショップの 2 日目には、村レベルにおける障害者自助グループの設立・強化に関する活動計画の作成と発表を行いました。村の障害者たちは、村ごとに 4 つのグループに分かれ、障害者自助グループの活動計画を作成しました。活動計画には、ワークショップ 1 日目に学んだ自助グループの強化に必要な基本原則が反映され、家庭訪問を通じた新メンバーの参加促進、ピアカウンセリングの実施、ピアカウンセラーの育成、コミュニティリーダーへの啓発活動、様々な障害種別への対応など多岐に渡る活動が盛り込まれました。



活動計画を作成する障害者自助グループ

リム 345 市職員や州・郡の社会開発省行政官のグループが作成した活動計画には、障害者自助グループのサポートを目的として、リム 345 市における障害者自助グループメンバーのリスト作成、自助グループ普及のための啓発活動、障害フォーラムメンバーなどによる各村への訪問および自助グループの設立支援、障害者自助グループ活動のモニタリングなどの活動が提案されました。



活動計画を作成するリム 345 市職員

活動計画はグループごとに発表され、その後、発表された活動計画に関する議論が行われました。特に啓発活動の実施に対しては、何を目的に啓発活動を行うのか、対象者や対象地域をどのように決めるのか、啓発活動実施に向けたプロセスの細分化が必要、個々の活動の責任者を明確にするべき、など白熱した議論が行われました。議論を踏まえ、参加者たちは活動計画を修正し、活動計画を実施・モニタリングすることを約束しました。

今後の予定

ワークショップの後、マカトゥレ村の障害者自助グループから、家庭訪問を通じて新たに 2 名の障害者がグループに参加するようになった、と連絡がありました。また、パパゼラ村とマゴナ村の障害者自助グループは、2017 年 8 月に村で実施予定のピアカウンセリングに向け、参加者の選定や場所選びなどに協力してくれています。プロジェクトは今後も村の障害者自助グループの活動を支援していく予定です。

フェイスブックページ開設！

プロジェクトでは、活動をより多くの方に知っていただくためフェイスブックを開設しました。フェイスブック名は、南部アフリカ・障害・エンパワメント・主流化 (Southern African Disability Empowerment Mainstreaming) の頭文字をとり「JICA SADEM」としました。プロジェクトのフェイスブックページをご覧ください、

「フォロー・いいね！」をお願いします！

プロジェクトフェイスブックページ：

<https://www.facebook.com/jicasouthafricadisabilityempowermentmainstreaming/>

今後とも、プロジェクトをよろしくお願い致します。

Department of Social Development (DSD):
134 Pretorius Street, HSRC Building, Pretoria,
0001, South Africa

Editors:

Daisuke Sagiya: DaisukeS@dsd.gov.za

Ren Kamioka: RenK@dsd.gov.za